

UNO.FILMS PRESENTS
A Yasuhide Uno Company

流浪の月

2022年5月13日 全国公開

松本ロケ地MAP

広瀬すず 松坂桃李 横浜流星 多部未華子



元誘拐犯と、その被害女児。
許されないうつり。

流浪の月

広瀬すず 松坂桃李
横浜流星 多部未華子

監督・脚本：李相日 原作：風丸ゆづり『流浪の月』(KADOKAWA)
5月13日(金)ロードショー



本屋大賞受賞の傑作小説×監督：李相日が贈る、ある「愛」のかたち。 GAGA★

Matsumoto
Location
Map



各地案内所

◆(公財)ながの観光コンベンションビューロー

〒380-0835 長野県長野市新田町1485-1 長野市もんぜんぶら座4階
TEL.026-223-6050 FAX.026-223-5520

◆長野市観光情報センター

〒380-0921 長野県長野市栗田北河原1038-4 TEL.026-226-5626
JR長野駅構内東西自由通路「みどりの窓口」向かい(エレベーター前)
《休業日》無休 《営業時間》9:00~19:00(4月~10月) 9:00~18:00(11月~3月)

◆ながの観光net <https://www.nagano-cvb.or.jp>



◆大町市観光協会

〒398-0002 長野県大町市大町3200 TEL.0261-22-0190 FAX.0261-22-5593
《営業時間》8:30~17:15 年末年始(12/30~1/3)以外は営業
<https://kanko-omachi.gr.jp/>

松本市へのアクセス

<https://visitmatsumoto.com/access/>



JRで

- 新宿から(東京・千葉から一部直通あり)→中央本線/特急約2時間30分(1時間に1本)
- 東京から(長野経由)→新幹線利用約2時間20分
- 名古屋から→中央本線/特急約2時間
- 大阪から(名古屋経由)→新幹線利用約3時間10分

車で

- 名古屋から→中央自動車道(岡谷JCT)
長野自動車道利用で約200km松本I.C下車、松本城まで約10分
- 東京から→中央自動車道(岡谷JCT)
長野自動車道利用で約220km松本I.C下車、松本城まで約10分

飛行機で(信州まつもと空港利用)

- 福岡→松本 90分(FDA) ●札幌(新千歳・丘珠)→松本 100分(FDA)
 - 神戸→松本 60分(FDA) ●大阪(伊丹)→松本 50分(JAL)
- ※丘珠・伊丹は季節運航
【信州まつもとと空港からJR松本駅までは、タクシー：20分/バス：25分】

◆松本市観光案内所

〒390-0815 長野県松本市深志1-1-1 TEL.0263-32-2814
JR松本駅構内 《休業日》年末年始 《営業時間》9:00~17:45

◆松本市観光情報センター

〒390-0874 長野県松本市大手3-8-13 TEL.0263-39-7176
松本市役所大手事務所1階 《休業日》年末年始 《営業時間》9:00~17:45

松本市・松本観光コンベンション協会

〒390-0874 長野県松本市大手3-8-13
TEL.0263-34-3295 FAX.0263-39-7320
《休業日》土・日・祝日・年末年始 《営業時間》9:00~17:00
<https://visitmatsumoto.com/> 新まつもと物語 検索



Instagram
更新中!



松本情報を発信しています!
ぜひフォローお願いします!!

発行/2022.05.5,000

UNO.FILMS PRESENTS
A Yasuhide Uno Company

流浪の月

広瀬すず 松坂桃李 横浜流星 多部未華子

本屋大賞受賞の傑作小説×監督：李相日が贈る、ある「愛」のかたち。

2020年本屋大賞受賞、同年年間ベストセラー1位(日販単行本フィクション部門、トーハン単行本文芸書部門)に輝いた風丸ゆづりによる傑作小説が原作。

10歳のときに誘拐事件の“被害女児”となった家内更紗(かみいさらさ)を広瀬が、その事件の“加害者”とされた当時19歳の青年・佐伯文(さへきふみ)を松坂が演じます。

息を潜めるように生きてきた2人が再会して選んだ道とは――?
デビュー以来、観客の心を鷲掴みにしてきた『悪人』『怒り』などで知られる李相日監督、『パラサイト 半地下の家族』のホン・ギョング撮影監督、さらに『キル・ビル Vol.1』『ヘイトフル・エイト』の美術・種田陽平ら、世界で活躍する国境を越えた才能が集結します。

ストーリー

雨の夕方の公園で、びしょ濡れの10歳の家内更紗に傘をさしかけてくれたのは19歳の大学生・佐伯文。引き取られている伯母の家に帰らなければならない更紗の意を汲み、部屋に入れてくれた文のもとで、更紗はそのまま2か月を過ごすことになる。が、ほどなく文は更紗の誘拐罪で逮捕されてしまう。それから15年後。“傷物にされた被害女児”とその“加害者”という烙印を背負ったまま、更紗と文は再会する。しかし、更紗のそばには婚約者の亮(あきら)がいた。一方、文のかたわらにもひとりの女性・谷(や)が寄り添っていて...

- 原作：風丸ゆづり『流浪の月』(東京創元社刊)
- 出演：広瀬すず、松坂桃李
横浜流星、多部未華子/趣里、三浦貴大、白鳥玉季、増田光桜、内田也哉子/柄本明
- 監督、脚本：李相日 ●撮影監督：ホン・ギョング ●音楽：原摩利彦 ●製作総指揮：宇野康秀
- 製作幹事：UNO-FILMS(製作第一弾) ●共同製作：ギャガ、UNITED PRODUCTIONS ●配給：ギャガ



“空気感が「流浪の月」の世界観そのものでした” (李相日監督)

古き良き城下町の風情と現代の趣が不思議と馴染む、松本がもつ空気感。そして主人公・文が営むカフェのイメージにピッタリとはまった松本ガス所有の建物が決め手となり、映画の8割ほどが松本で撮影されました。



李相日監督

松本は、整然とした街並みに清潔感が漂う印象です。それでいて、空間に隙間というか余白を感じます。その隙間に、光が降り注ぎ、川の音が響き、風が通っていく。時間の流れもどこか悠然としていて、古い大切な記憶を呼び覚ましてくれそうな空気感が「流浪の月」の世界観そのものでした。



ホン・ギョング撮影監督

松本は、わたしにとってとても印象的な風景を持つ場所です。空、雲、美しいスカイライン。高い建物がない分、空がずっとよく見えました。マジックアワーが韓国と比べてとても長く、驚くほどに美しかったので、「流浪の月」ではその時間の撮影を特に多く行いました。大変でしたが、その時間を使って多くの美しい映像を撮ることができました。





UNO.FILMS PRESENTS
るろう
流浪の月
松本ロケ地MAP

広瀬すず 松坂桃李 横浜流星 多部未華子
本屋大賞受賞の傑作小説×監督:李相日が贈る、ある「愛」のかたち。



2022年5月13日 全国公開

更紗が、文が、そこにいた…。

松本の街並みや女鳥羽川、山の稜線を背景に撮影された、ある「愛」の形。画になる松本の空気感に作品を感じながら、ロケ地を散策してください。

松本市街地MAP



Baden Baden



ドイツ料理とドイツビールの専門店。ドイツから新鮮な生樽(生ビール)を樽単位で輸入している本格的なビアレストラン。更紗がバイト先のパート仲間たちと飲みに行く居酒屋として登場します。

一ツ橋

縄手通りと中町通りを繋ぐ、女鳥羽川にかかる橋の一つ。大正期の市役所を再現した市営住宅と風情のある街灯があり、夜になると灯も灯ります。文の営業するカフェからほど近いので、昼夜を問わず、様々なシーンの撮影が行われました。



信濃教育会館

全面赤レンガの壁面が印象的な建物で警察署として登場します。亮が救急車で運ばれた後、取り調べを受ける更紗。文のことにまで話がおよび、更紗は怒りに震えます。



長野市



グリーンハイツ

上層部分が階段状になったベランダが特徴的な外観の建物は、文が住むマンション。文のことで亮に責められた更紗は、亮から逃げるように文の隣の部屋に引っ越します。



松本ガス所有の建物

※立ち入りはできません。

映画の主要な舞台となる文が営業するカフェとして李相日監督のイメージにぴったりだったため、映画全体の舞台が松本市に。ビル全体にレトロな味わいがあり、1階のアンティークショップも2階のカフェcalicoも、まるで昔からここで営業していたかのように、いずれも建物内にセットを作り撮影されました。



青木湖(大町市)

大町市にあり、仁科三湖最大の美しい湖。森に囲まれた落ち着いた雰囲気の湖畔はアウトドアが人気です。15年前、当時10歳の更紗と19歳の文はここで引き離されます。ふたりの大切な思い出の場所です。

ビッグエコー松本高宮店



更紗が、バイト先の同僚と行くカラオケ店として登場。過去の誘拐事件のサイトの更新情報欄に新着情報がアップされたことをパート仲間にも教えられる。



公園通り

松本駅前広場から本町通りを結ぶ通り。道の両側に飲食店が並び、歩行者が多く松本バルコや花時計公園にも面しています。作中では、バイト先のパート仲間たちの飲み会のあと、ひとり歩く更紗を安西が呼び止め、飲み直しに誘います。



コンコースカフェ

松本郵便局の隣。珈琲・紅茶・ココア・豆乳系などアルコールも含めたドリンクメニューはもちろん、ランチやおつまみなどフードメニューも豊富です。更紗がパート仲間の安西の娘を預かるシーンに登場します。



アルピコ路線バス

飯田町バス停(アルピコ交通株式会社)
市内外の路線バスや観光バスがあり、市民や観光客の足として欠かせません。更紗が亮と暮らすマンションとバイト先を往復する交通手段として乗車風景が撮影されました。



信毎メディアガーデン

信濃毎日新聞(長野県の主力地方紙)の松本本社。コミュニティーゾーンと、個性豊かな9店舗が入るショッピングゾーンがあり、市民の方々をはじめ国内外の観光客も気軽に足を運べる複合施設です。歩道から広がる広場があり、更紗が亮の責めから逃れてさ迷うシーンはこの施設の正面あたりで撮影されました。

